

## 新年のあいさつ



市長 **西村和平**

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかで希望に満ちた新年をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

市長就任から4度目の新年を迎え、今年は、播磨国風土記編纂から1300年。また、北条鉄道が、播州鉄道から数えて100年、第三セクターに移行してから30年という節目の年となります。

5月4日には播磨国風土記1300年祭を開催し、野村萬斎さんの監修による玉丘古墳の根日女をモチーフとしたオリジナル狂言と梅原猛さん書き下ろしの風土記をテーマとした新作能を超一流の方々に演じていただきます。とりわけ、狂言「根日女」は、加西市の新たな伝承文化として醸成していきます。また、北条鉄道も第三セクター移行後、最高の輸送人員を記録する勢いであり、節目の年にふさわしい取り組みや結果が残せると思いますのでご期待ください。

市長の使命は、市民の皆さまの思いを丁寧にくみ取り、市政に反映するとともに、お示ししたことを着実に実行していくことと考えています。3年半の間に、マニフェスト81項目の全てに着手し、6割以上を達成することができました。また、『ふるさと創造会議』による地域づくりが11小学校区のうち7校区で動き始めました。

今年はさらに、加西市独自の地域おこし協力隊制度を創設します。三大都市圏からの若者を隊員に任命し、活性化の旗手として地域づくりを後押しします。

地域づくりは『ふるさと創造会議』で進めると同時に、市民の皆さま一人ひとりに焦点をあてた「健“幸”都市」を目指し、「歩くまちづくり条例」を制定いたします。歩くことを推奨するだけでなく、歩いて生活できる環境を整備し、自然と歩くことで、住んでいれば健康で幸せになれるようなまちづくりを進めます。

結びに、市政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



すべての中学校で給食が始まる（平成26年1月14日、北条中学校）



議長 **森元清蔵**

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さま方には、ご家族おそろいで、清々しい新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。日頃より市議会の運営並びに活動に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、日本経済は、アベノミクスのデフレ脱却戦略により、企業活動は活発化し株価が上昇してきましたが、私たち市民の所得には目立った反映が見られません。円安傾向による物価上昇と消費税の増税により、実感として私たちの生活は以前よりも厳しくなっています。

市議会は、市民の皆さま方の目線に立って、幸せが実感できるように、政府や県の関係機関に働きかけてまいりました。今後も加西市行政と共にさらに強い活動を続けてまいります。

議会運営面では、平成22年に議会基本条例を制定して、議会報告会の実施や一問一答制の導入、委員会への請願者・陳情者の出席を可能にすることや、「市議会だより」の充実など、市民に開かれた議会を目指してまいりました。

昨年は、議会に関する市民アンケートでご意見をお聞きしながら、これまでの取り組みを検証し、12月議会において議会基本条例の改正を行いました。特に議会報告については、意見交換を重視し、諸団体との意見交換会を活発に行って、よりいっそう皆さま方の声を市政に反映してまいります。

今後も、加西市議会は、市民の皆さま方が幸せを実感できるまちづくりに向け、議員一丸となって取り組んでいく所存です。より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

市民の皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、平成27年の年頭の挨拶といたします。



議会報告会（平成26年11月12日、北部公民館）



教育長 松本直行

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より、学校教育及び社会教育につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

少子・高齢化、グローバル化、高度情報化など、社会環境が急激に変化する中、子どもたちが志を抱き、互いに協力しながら、たくましく社会を生き抜く力を培うことが一層重要となっております。

学校教育におきましては、0歳から15歳までの発達や学びの連続性を保つ保・幼・小・中の連携を推進し、子どもたちの確かな成長を支えてまいります。そして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、将来において自己実現が図られるとともに、ふるさと加西を愛する心を育む教育の推進に尽力いたします。また、引き続き学校施設の耐震化に努めますとともに、本年4月より開始予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、すべての子育て世帯が安心して子育てできる環境の整備及び幼児期の学校教育・保育のさらなる向上を推進してまいります。

市民一人一人が、その生涯を通じて、様々な学びの機会を得ることは、生きる喜びや感動をもたらし、豊かな心を育むことにつながります。社会教育におきましては、多様な生涯学習の場の整備や学習情報の提供に努め、更なる社会教育・生涯学習の充実とスポーツ振興を図ってまいります。

本年も、愛と信頼を基盤に、学校・家庭・地域が手を携えて、子どもたちが、自らの力で未来を切り拓いていけるよう、全力で取り組んでまいりたいと思っております。より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまお一人お一人にとりまして、幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



宇仁小新校舎で学校生活がスタート（平成26年1月8日）

## 「北条高校活性化協議会」を設立

北条高校では、生徒の学力向上を図るための取り組みや積極的な地域貢献活動など、さまざまな取り組みを実施されています。

この取り組みを地域が一丸となって支援し、北条高校の活性化、さらには加西市全体の活性化を図ることを目的とした「北条高校活性化協議会」を、加西商工会議所、北条高校PTA、北条高校同窓会、加西市連合PTA、加西市の5団体で平成26年12月4日に設立されました。

平成27年度から、塾や予備校の講師派遣による放課後の学習講座「北条高校アフタースクールゼミ事業」を実施するなど、同協議会は北条高校の活性化に向けた支援を積極的に行います。



市内唯一の普通科の高校を地域が一丸となって支援する「北条高校活性化協議会」が設立

【問合せ先】 人口増政策課(人口増政策係) ☎④8700 FAX④1800 jinko@city.kasai.lg.jp

## 播磨農業高校が乗馬や乳加工で地域交流

播磨農業高校では、地域の方と一緒に農業実習体験をする「播磨 Agri スクール」を行っています。乗馬体験や乳加工の体験などを行うことで、地域交流を深めることを目的としています。

平成26年10月15日に行われた乗馬体験では、15人の参加があり、生徒が乗降のサポートなどをして参加者との交流を深めました。参加者は「珍しい体験ができてとても楽しかった」「馬や牛、豚などの体や食生活についても学ぶことができた」「生徒の皆さんが優しく動物に接している様子がよくわかった」と大好評でした。



馬の特徴や性質などを説明する生徒